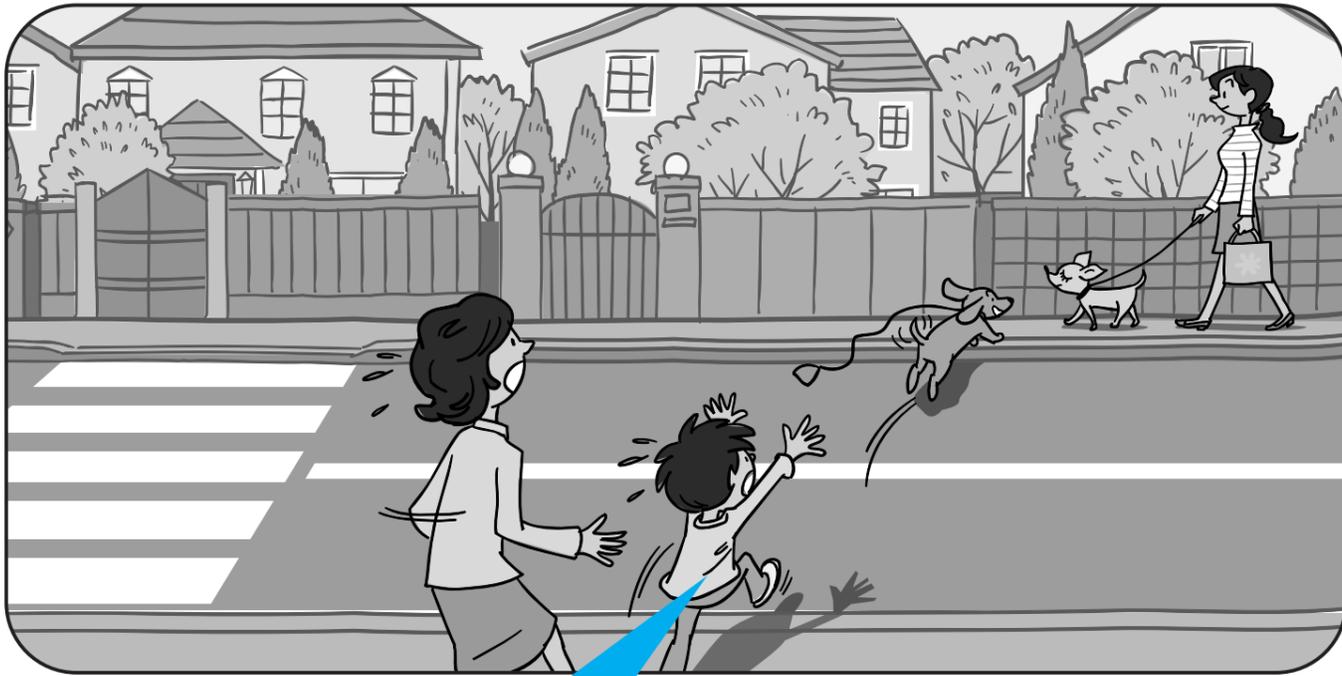


危険予測トレーニング(KYT) —危険感受性を育てる

第27回 ペットが飛び出してしまった時 (子ども編)

交通事故を防止するためには、路上で出会うさまざまな危険を予測することが大切です。このコーナーでは危険感受性を育てるための題材を提供します。今回は子ども (小学生以上) に、道路への飛び出しの危険を考えてもらうためのKYTです。



活用方法

- ① 少人数のグループをつくります。
- ② 「交通場面のイラスト」を見せながら、意見を出し合います。
- ③ その後、「解答・解説※」を参考にして、どんなことに気をつけて運転すれば良いか再び話し合ってください。

※「解答・解説」と「交通場面のイラスト (カラー・A4版)」は下記SJホームページでご覧いただけます。またPDFファイルもダウンロード (無料) できます。

ホンダ SJ

検索

【使用上の注意】

- 営利目的での利用はおやめください。
- 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください。
- その他、使用に関するご質問はお問い合わせください。

本田技研工業 (株) 安全運転普及本部  
TEL : 03 (5412) 1736  
E-mail:sj-mail@spirit.honda.co.jp

あなたはお母さんと一緒にペットを散歩させるため、歩道を歩いています。すると突然、ペットが反対側の歩道へ走り出してしまいました。

このような時には、どんなことに気をつければ良いか考えてみましょう。

©本田技研工業 (株)

指導者ファイル 8

このコーナーでは、地域で活躍する交通安全教育に携わる指導者の方々を紹介していきます。



茨城県ひたちなか市・交通安全教育指導員の皆さん

写真後列左から、臼庭佐智子さん、仲田小百合さん、仲田則子さん。写真前列左から、鶴田清さん、清水美弥子さん、須加野さゆりさん

多人数の参加者に対応するための教材を制作

ひたちなか市は茨城県中央部の北東に位置する都市である。同市では6名の交通安全教育指導員が幼児から高齢者まで幅広い年齢層の市民を対象に啓発活動をしている。平成23年度は2万5000人近くに指導を行った。今回は6名の方々がアイデアを出し合って制作した教材のいくつかを紹介していく。ひたちなか市の教材の特色は大型のものが多いことだ。

「私たちが指導する場合、参加者が多人数ということが少なくありません。交通安全教室などで後ろにいるお子さんにも注目してもらえるように教材は大きなものをつくらせているのです。こうした教材を使って、わかりやすく、全員が楽しく参加できる交通安全教育を心がけています」と交通安全教育指導員の一人、仲田小百合さんは話す。

ひたちなか市交通安全教育指導員の皆さんが制作した教材や、教材を活用した指導の様子は以下のホームページでご覧いただけます。  
<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/area/movie/index.html>

★子どもの関心を引くオリジナルのガチャポン



ガチャポンから出てくるカプセルの中のアイテムを使って、交通ルールをわかりやすく説明する。本体は冷蔵庫の空き箱を利用。模擬のコインを投入し、中央にあるハンドルを回すと、カプセルが出てくる



裏側では別の指導員がハンドルを回すタイミングを見計らってカプセルを落とす



模擬のコインは発泡スチロール製。カプセルは、台所用品のボール2つを紐でくくり、ガムテープでとめている。カプセルの中身は信号など、指導する対象に合わせて変えているという

★大型の仕掛け絵本



女の子が、おばあちゃんの家に行く途中、出会った動物たちに交通ルールを覚えてもらうという絵本



★駐車車両がつくる死角を伝える

子どもに駐車車両の前後の横断は見通しが悪いため危険であることを理解してもらうのに活用しているクルマの模型。プラスチックの板を組み合わせているので、折りたんで持ち運べるようになっている



SJクイズ ?

Q1 平成23年の歩行者 (第1・2当事者) の交通事故死傷者数を道路形状別にみると、幼児では単路が約半数を占めていますが、小学生の場合はどこが多いでしょう?

- ① 交差点 (交差点付近含む)
- ② 単路
- ③ 踏切

Q2 小学生の歩行者 (第1・2当事者) の交通事故死傷者数を通行目的別にみると、次のうち最も多いのはどれでしょう?

- ① 遊戯
- ② 訪問
- ③ 登校
- ④ 下校



Q3 幼児・小学生の歩行者 (第1・2当事者) の交通事故死傷者で最も多い違反は次のうちどれでしょう?

- ① 横断違反 (横断歩道外横断など)
- ② 飛び出し
- ③ 幼児ひとり歩き
- ④ 路上遊戯

※「解答」は8面下。「解説」は下記SJホームページでご覧いただけます。<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/sj/>

©本田技研工業 (株)